

科目	化学	学年	第2学年	開講	通年	必修	3単位
----	----	----	------	----	----	----	-----

教科書： 啓林館化学
副教材： リードα 化学基礎・化学合冊

1 学習の到達目標

発展的内容まで含めた教科書の内容を理解し、入試に対応できる学力をつける。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点		
							a	b	c
前期	物質の状態	物質の状態変化	状態変化 気液平衡と蒸気圧	教科書内容の完全理解を目指す。	4	中間	○	○	○
		気体の性質	気体の体積の変化 気体の状態方程式	教科書内容の完全理解を目指す。	5		○	○	○
	溶液の性質	溶液と溶解度 希薄溶液の性質	教科書内容の完全理解を目指す。	6	期末	○	○	○	
		固体の構造	化学結合と結晶 結晶の構造 アモルファス	教科書内容の完全理解を目指す。		7	○	○	○
前期 授業評価									
後期	物質の変化と平衡	エネルギー	反応熱とエンタルピー ヘスの法則 化学反応と光	教科書内容の完全理解を目指す。 新規の分野なので、入試問題等の精査も進めながら、様々な切り口の問題解決力を養う。	9	中間	○	○	○
		電気エネルギー	電池 電気分解	教科書内容の完全理解を目指す。	10		○	○	○
	反応速度	反応の速さ 反応と触媒	教科書内容の完全理解を目指す。	11	期末	○	○	○	
		化学平衡	化学平衡とその移動 電離平衡	教科書内容の完全理解を目指す。		1	○	○	○
後期 授業評価									

3 評価の観点

暗記すべきことが覚えられたかどうか。/ 平易な計算問題を解くことができたかどうか。
これらを試験の得点率によって評価する。
また折に触れて提出物を求め、これを学習に取り組む姿勢として評価する。

4 観点別評価の評価基準

3観点	評価方法	評価基準
知識・技能	定期考査	極めて基本的な内容が理解/暗記できているかを数値化する。
思考・判断・表現	定期考査	教科書の章末問題程度の問題の解答力を数値化する。
主体的態度	小テスト・提出物・レポート等	課題やレポートなどの提出物、授業中の応答の巧拙を数値化する。